観中人権だより

2026年度《№6》　2026/10/21(水)　観音寺市立観音寺中学校

学級の絆を深めた合唱コンクール

10月14日(水)に校内合唱コンクールが行われました。9月から練習が始まり、朝、昼、放課後と学校中から美しい歌声が聞こえていました。当日はどの学級も練習の成果を発揮した、すばらしい歌声でした。合唱は、一人だけではどんなに歌っても成り立ちません。学級全体が一丸となって取り組むことで、声が重なり、何倍もの迫力と、感動させる力をもったものになります。また、周囲の仲間が一生懸命に歌っているからこそ、信頼して大きな声で歌うことができます。今回の合唱コンクールで、きっとどの学級も絆が深まったと思います。この絆を胸に、年度後期もがんばっていきましょう。







合唱コンクールを振り返って(生徒の感想より)

〇合唱コンクールのいいところは？

・クラス全体が一つのことに一生懸命になれるところ。絆を深めることができた。

・合唱練習を繰り返す中でクラスが一丸になっていくのを感じた。みんなの気持ちが一つになってその気持ちが歌詞に表れた。

・みんなで一つの目標に向かって、課題に向き合い、協力し、助け合うことができた。

・一人ではできないものを、みんなでつくりあげられるところ。

〇合唱コンクールをふりかえって

・三年間で一度も一位になることはなかったが、どの学年で歌った曲も、クラスのメンバーも忘れられない大きな思い出となった。悔しい気持ちはあるけれど、みんなで一ヶ月以上本気で頑張ったからこそ、順位に関係なく、「やりきった」「楽しかった」と心から思えた。最初はめんどくさいなと思っていた練習も、練習する中で「必ずみんなで勝つんだ」と強い思いに変わった。今は、これから練習してこの曲を歌うことがなくなると思うと寂しい。

・はじめは、声は出ない、音程はそろわないで不安でいっぱいだったけれど、毎日毎日練習する中で自信を持って歌うことができた。自分やクラス全体の成長を感じられる合唱ができた。

・本番では今までで一番いい合唱ができたと思う。本番が近づくにつれて、みんなが頑張ろうとしている思いが伝わり、声をだんだん出せるようになった。パートリーダー・指揮者・伴奏者のみんなが合唱を支えてくれた。みんなが朝早くから練習を頑張っている姿に自分も胸が熱くなった。

・みんなで歌うことはとても気持ちがいいし、楽しかった。はもりがうまくいくと尚更。全力が出せて、みんなが笑顔で終われて、練習してきて本当に良かった。けど、一位を取りたかったからちょっと悔しい。